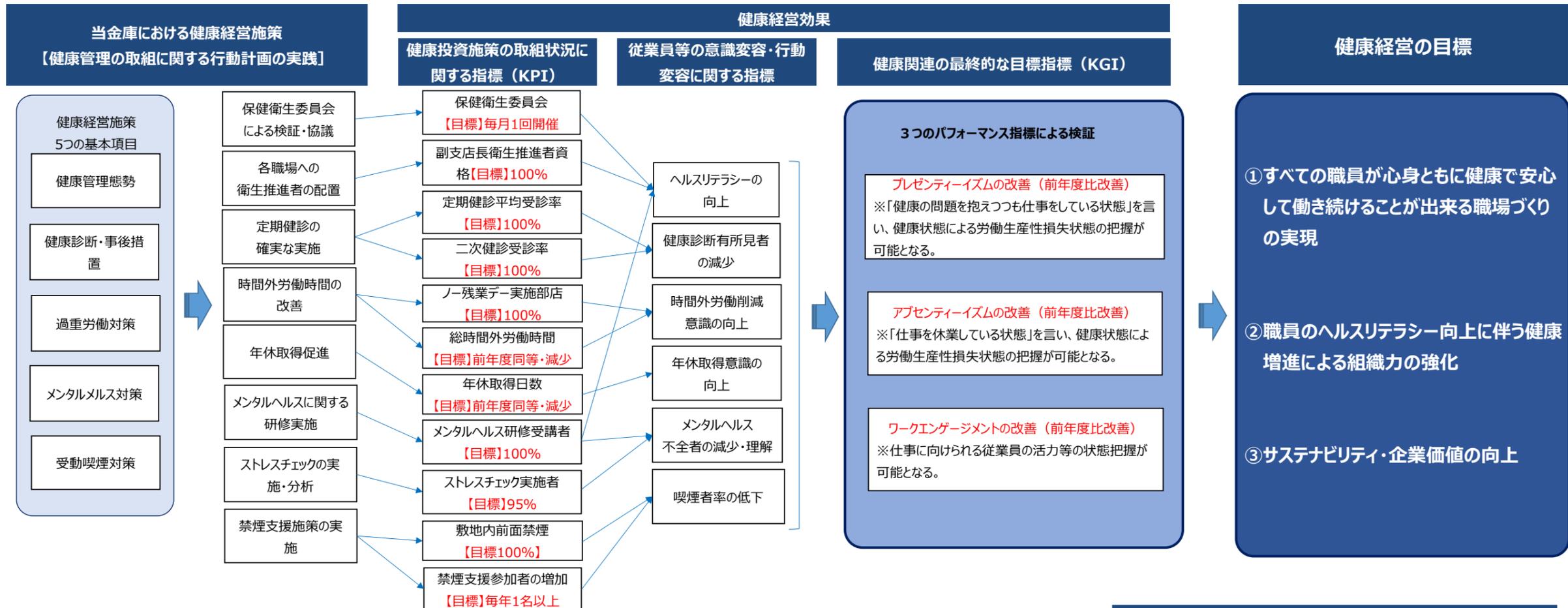


【北海道労働金庫 健康経営宣言】

北海道労働金庫は、全ての役職員が健康でいきいきと働くことの出来る職場づくりの実現に向けて、以下を宣言します。

- 経営理念に掲げる「働く人の夢と共感を創造する協同組織の福祉金融機関」として、その社会的役割を果たすため、職員が心身ともに健康で安心して働き続けることが出来る職場づくりを目指します。
- 職員が心身ともに健康で安心して働き続けることができる職場づくりに向け、具体的な施策を積極的に推進します。
- 全ての役職員ならびにその家族は、ヘルスリテラシーの向上と健康な心身づくりを自律的に実践します。

【戦略マップ_2024年度版】



2024年度における健康経営に関する各種取組みの実施状況および職員の意識

- ・保健衛生委員会・・・労組執行委員も委員会構成員として出席のもと毎月1回開催し、超勤実態や有給休暇取得状況・労災発生状況等各種実態について報告・議論を重ねている。
- ・健康教室・・・「働く女性の健康関連課題」をテーマに全職員を対象とした健康教室を年1回実施。女性の健康関連課題について動画視聴により理解を深める（2024年度参加率85.9%）。
- ・「運動習慣キャンペーン」・・・職員のヘルスリテラシー向上と健康な心身づくりを目的に、役職員の「運動習慣の定着」を促進するキャンペーンを実施（2024年度_参加人数116名_参加率15.6%）。
- ・「食生活改善キャンペーン」・・・職員のヘルスリテラシー向上と健康な心身づくりを目的に、役職員の「食生活の改善」を促進するキャンペーンを実施（2024年度_参加人数56名_参加率7.5%）。
- ・定期健康診断受診率・・・2024年度100%（定期健康診断後の二次健診対象者受診率100%）
- ・ハイリスク者への施策・・・65歳以上の全従業員に対し定期健康診断とは別に保健師がフォローアップを実施。
- ・ストレスチェック受診率・・・2024年度91.8%（回答者697人）
- ・職員のヘルスリテラシーの状況・・・この1年の健康経営の取組みを通して自身のヘルスリテラシーは向上したか（2024年度：向上した・・・39.9% 変わらない・・・59.9% 下がった・・・0.2%）
- ・2024年4月より敷地内全面禁煙の実施

健康関連の最終的な目標指標に対する実績値の公表

	2022年度	2023年度	2024年度
プレゼンティーズム	-	18.9%	19.7%
アブセンティーズム	1.9%	1.6%	1.6%
ワークエンゲージメント	2.5点	2.5点	2.5点

※測定方法および測定人数について【2024年度】
 全職員に対しアンケートを実施し、対象739名のうち720名から回答を得た（回答率97.4%）。
 ・プレゼンティーズム・・・職員アンケートにおいて、SPQ（Single-Item Presenteeism Question 東大1項目版）を実施
 ・アブセンティーズム・・・1か月以上の欠勤・休職者が全体の労働者に占める割合
 ・ワークエンゲージメント・・・新職業性ストレス簡易調査票（短縮80項目版）で測定

各種指標の経年変化について

項目	2022年度	2023年度	2024年度	備考
保健衛生委員会開催回数	12回	12回	12回	
衛生推進者資格取得人数	—	33名	8名	2024年度より全営業店に有資格者1名以上配置
定期健診受診率	100.0%	100.0%	100.0%	
定期健診後の二次検査受診率	100.0%	100.0%	100.0%	
月平均時間外労働時間【所定時間対比】	9:52時間	9:11時間	10:18時間	当庫勤務時間（7h20m）との対比にて算出 毎週1回「ノー残業デー」の継続実施
平均年次有給休暇取得日数	14.8日	16.2日	15.4日	
ストレスチェック受検率	96.8%	95.1%	91.8%	新職業性ストレス簡易調査票（短縮80項目版）で集計
喫煙率	19.2%	18.1%	17.4%	2024年度より敷地内全面禁煙実施
運動習慣定着イベント参加率	—	21.4%	15.6%	2023年度から実施
食生活習慣向上イベント参加率	—	—	7.5%	2024年度から実施
プレゼンティーズム	—	18.9%	19.7%	健康の問題を抱えつつも仕事をしている状態（「SPQ 東大 1 項目版」にて測定）
アブセンティーズム	1.9%	1.6%	1.6%	仕事を休業している状態（全体の職員に占める 1 か月以上の欠勤・休職者の割合を算出）
ワークエンゲージメント	2.5点	2.5点	2.5点	仕事に向けられる従業員の活力（ストレスチェック「新職業性ストレス簡易調査票短縮 80 項目版」にて測定）